

令和元（2019）年度 旭中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

《基本目標》人間尊重の精神を基盤に，豊かな心と個性をもち，自主性・創造性を発揮して，たくましく生きる力を培い，広く世界を見つめながら，進んで社会の発展に貢献できる人間を育成する。

《目指す生徒像》

- ・健康でやる気のある生徒（健康な体と気力）
- ・自ら学び創造力のある生徒（自主的な学習）
- ・心豊かで思いやりのある生徒（豊かな心）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校経営のテーマ「誰もが安心して通い，学び，活力にあふれる学校」

伝統のある旭中学校に誇りをもち，学校と家庭・地域が支え合い，校風の継承と新しい時代にあった本校らしい教育の実践を通して，志と自信をもって生きることができ，地域を愛する生徒を育成する。

- 1 心身ともに健康で学ぶ意欲のある人間を育成するため，「知・徳・体」の調和がとれた教育課程を編成するとともに，秩序があり安心・安全な教育活動の実施に努める。
- 2 教職員の情熱と自覚，職務への責任感，協調性を高めることにより信頼される学校づくりの推進に努めるとともに，職務環境の適正化を進め，勤務意欲の向上を図る。
- 3 学校と家庭・地域との連携・協力を深め，積極的な情報発信と相互交流を大切に，学校マネジメントシステムに係るPDCAサイクルを生かして，地域とともにある学校づくりを展開する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

本校のスローガン 本校のスローガン 本校のスローガン 「未来へ躍進 旭中」

1 確かな学力を身に付けさせるための学習指導の充実

- (1) 学力の基盤となる基本的な学習態度と学習規律を身に付けさせる指導を徹底する。 <B1>
- (2) 学習内容の基礎・基本の定着を図る指導と思考力・判断力・表現力等を育てる指導を展開する。
- (3) 主体的な学びや学習への達成感，課題解決を重視した授業展開の工夫・改善を図る。
- (4) 総合的な学習の時間やキャリア教育を通して，自己の生き方を見つめる学習活動を充実する。
- (5) 家庭における学習習慣の確立と適切な学習支援に努め，学習内容の定着を確実にする。 <B1>

2 豊かな人間性と社会性を育てる教育の推進

- (1) 教職員と生徒の好ましい信頼関係を構築し，生徒のよさを認め励ます指導と共感的な人間関係を通して，一人一人の思いやりや協調性など豊かな人間性を育成する。 <B2>
- (2) 自己存在感・有用感がもてる学年・学級経営を実践し，集団生活の向上に寄与する態度を育てる。
- (3) 道徳や特別活動，部活動等の充実を図り，自律的かつ自主的・自治的に学校生活に取り組む態度を育成する。
- (4) 正しい判断力と意欲を育てる指導に努め，基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上，対人関係能力の育成を図る。 <B4>
- (5) 学校と家庭・地域との適切な連携・協力のもと，豊かな心や感性を培う体験的な活動を展開する。 <B3>

3 健やかな心身を育む教育の充実

- (1) 健康的な生活習慣を確立し，自ら進んで健康の増進に取り組む態度を育成する。
- (2) 心身ともにたくましく，気力があり，何事にも粘り強く取り組む態度を育成する。
- (3) 栄養バランスのよい食生活により活力ある生活を送るため，家庭との連携を図った食育の充実を図る。

4 新たな教育課題等への対応と業務の適正化

- (1) 特別支援教育への理解と共通実践を推進し，インクルーシブ教育への適切な対応を行う。 <B2>
- (2) 不登校の未然防止と個々の状況を踏まえた対応の充実を図るため，組織的な指導支援と家庭及び関係機関等との連携協力を推進する。
- (3) 小中学校教職員の相互理解と連携・協力を深め，小中一貫教育・地域学校園の取組の充実を図り，旭地域学校園教育ビジョン「地域に愛される旭っ子」の具現化を目指す。
- (4) 校内美化・緑化やよりよい掲示環境，ICT機器の活用，学校図書館の充実などを通して，心豊かで主体的な態度を育む教育環境の充実を努める。
- (5) 新学習指導要領を見据え，各教科・道徳の時間等の授業研究を深め，指導力の向上に努める。

(6) 会議の精選、効率化等をとおして校内業務の適正化を図るとともに、時間を意識した働き方を推進する。

「地域に愛される旭っ子」

地域社会の一員としての役割や責任を自覚し、家族や友人、地域の人々への感謝の気持ちを持ち、思いやりをもって接するとともに、元気にあいさつし、ルールやマナーを守るなどの社会性を身に付け、進んで身の回りの人々や地域のために奉仕的に行動できる子ども

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、同法施行規則等の諸法規、中学校学習指導要領、県市教育委員会の指導方針や努力点を踏まえ、創意工夫を生かし編成する。
- (2) 本校学区の特徴、本校の実態、生徒の心身の発達段階とその特性を踏まえ、教職員組織、施設・設備等を十分考慮し、効果的な教育活動ができるように編成する。
- (3) 各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間等において、人間尊重の精神を基盤に豊かな人間性や基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせて、生きる力をはぐくむことを目指し、相互の密接な関連を図りながら編成する。
- (4) PDCAマネジメントサイクルを活用して、地域や家庭との連携・協力を深めながら、よりよい教育活動の実践を図ることによって教育目標を達成するよう編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

教職員の指導力向上と勤務意欲の高揚及び地域との連携推進による学校教育の充実

【学習指導】

自らの力で生きぬく生徒の育成をめざす指導の工夫ー基礎・基本の定着と学習習慣の確立ー

【児童生徒指導】

一人ひとりの生徒に寄り添い、基本的生活習慣の定着と人として大切な心を育てる

【健康（体力・保健・食・安全）】

体力・保健・食・安全自己の健康・体力の向上を目指し、主体的によりよい生活習慣の確立と運動に取り組む生徒の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%	① 生徒に考えさせることを明確にし、学びに向かう力（自らが学びたいと思ひ、学び続ける力）を育む。 ② 自主学習ノートを通して、自ら課題を考えて取り組む態度を育成する。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答 89.7% ・保護者の肯定的回答 88.1% ・ 生徒の肯定的回答 83.1% ① 旭っ子タイムの実践（1年目） ② 自主学習ノート提出率 95%（3年目） 【次年度の方針】 基礎・基本の定着を図る方策を各教科で検討し、どのように学ばせるか工夫する。
	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85% 教職員の肯定的回答 85%	① 生徒一人ひとりが学級の構成員として、どんな立場の友人にも声かけや手助けをする実践力を養う。 ② いじめ問題について真剣に考え、いじめをなくす取り組みを心がけている。	A	【達成状況】 ・ 教職員の肯定的回答 79.5% ・保護者の肯定的回答 85.2% ・地域住民の肯定的回答 96.0% ・ 生徒の肯定的回答 85.6% ①学校行事等を活用して、一人ひとりが学級の構成員としての自覚を促す。 ②道徳科のいじめの内容についての厳選。 【次年度の方針】 道徳科の授業を充実させ、人との関わりやいじめについて深く考えさせる。

<p>A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85% 教職員の肯定的回答 85%</p>	<p>① 生徒が自ら時間を見て行動できる実践力を養う共に、教育活動全般を通してきまりを守る姿勢を育てる。</p> <p>② 交通安全教室等で命の重さ、ルール・マナーを守ることの重要性を認識させたうえで行動する態度を育成する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 92.3% ・保護者の肯定的回答 92.2% ・地域住民の肯定的回答 96.2% ・生徒の肯定的回答 86.1% <p>生徒、教職員の評価はともに目標値を上回った。生徒評価は昨年度より 9.2 ポイント上昇している。</p> <p>【次年度の方針】 生徒が自分たちで正しい判断をし、生徒同士が声を掛け合っていけるように指導していく。</p>
<p>A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90% 教職員の肯定的回答 90%</p>	<p>① 校内で会う友人、先輩後輩、先生、来校者など、相手に応じて適したあいさつができるようにする。</p> <p>② 授業や給食時などで、姿勢を整えはつきりと声に出してあいさつをする習慣をつける。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 71.8% ・保護者の肯定的回答 87.9% ・地域住民の肯定的回答 96.2% ・生徒の肯定的回答 96.1% <p>生徒の数値は目標値を上回ったが、教職員の数値は 71.8%にとどまった。</p> <p>【次年度の方針】 あいさつ運動を継続するとともに、生徒にあいさつの意義を伝えること、教職員からあいさつをしていくことを心掛ける。</p>
<p>A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85% 教職員の肯定的回答 85%</p>	<p>① 定期テスト毎に学習計画を書かせ、反省を書かせることにより、自分の目標を明確にし、それに到達出来たかを視覚的に分かるようにする。</p> <p>② 生活にメリハリをつけた生活をさせるために、月毎の生活目標を立ててそれを基に生活する習慣を身に着けさせる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答% 82.1 ・保護者の肯定的回答 80.2% ・生徒の肯定的回答 81.0% <p>生徒の数値、教職員の数値ともに目標値に届かなかった。</p> <p>【次年度の方針】 生徒への声掛けや励ましなどを行う事など、生徒が粘り強く取り組むことができるよう適切な支援を継続していく。</p>
<p>A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%</p>	<p>① 定期健康診断を実施し、結果を通知することで、自身の健康に関心を待たせる。</p> <p>② 避難訓練を実施し、自らの命を守り抜くための行動力を身に付けさせる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 89.7% ・保護者の肯定的回答 89.1% ・地域住民の肯定的回答 91.7% ・生徒の肯定的回答 92.1% <p>①健康診断結果、治療勧告の通知 ②</p> <p>【次年度の方針】 自らの健康や安全について考え、振り返る機会を意図的に設ける。</p>
<p>A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85% 教職員の肯定的回答 85%</p>	<p>① 冒険活動教室、職場体験学習、修学旅行などの学年の行事を通して、社会の一員としての自覚と課題をもち、解決する力を育む。</p> <p>② 道徳教育、進路学習を通して、将来について考え目標をもって努力する力を身に付けさせる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 82.1% ・保護者の肯定的回答% 80.2 ・生徒の肯定的回答 81.0% <p>生徒の数値、教職員の数値ともに目標値に届かなかった。</p> <p>【次年度の方針】 道徳教育や進路学習を充実させるとともに、生徒たちにさまざまなことを経験・体験させ、夢や目標をもつきっかけをつくれるよう支援する。</p>

<p>A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%</p>	<p>① 必要な情報や概要・要点を聞き取ったり、読み取ったりさせる。</p> <p>② 関心のある事柄や日常的・社会的な話題について、やり取りさせたり、発表させたり、書かせたりする。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 89.7% ・生徒の肯定的回答% 84.0 <p>① 音声や文字を通して理解・表現できた。</p> <p>② 様々な話題について理解・表現できた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>4技能（聞く・話す・読む・書く）におけるコミュニケーション活動の充実を図る。</p>
<p>A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%</p>	<p>① 総合的な学習の時間や地域ボランティアに参加することによって宇都宮の良さを多く体験できるように工夫する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 64.1% ・保護者の肯定的回答 67.0% ・生徒の肯定的回答 76.6% <p>① 教職員保護者の肯定的回答は市の平均を上回っているが、生徒の肯定的回答は市の平均を2ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から実施される宇都宮学について、広報活動に努める。 ・地域ボランティア活動の振返りに宇都宮の良さを考える項目を入れる。
<p>A 10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%</p>	<p>① PC等を用いて調べ学習を行い、課題をまとめ、発表することで理解を深める。</p> <p>② 年鑑や統計など、様々な参考図書の調べ方を理解し、目的に応じた適切な参考図書を選び、有効に活用させる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 87.2% ・保護者の肯定的回答 65.7% ・生徒の肯定的回答 68.4% <p>①機器を使い、まとめることができた。</p> <p>②図書を活用し、課題を調べることができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>授業等において、機器や図書を有効活用できるように環境整備を行っていく。</p>
<p>A 11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85% 地域住民の肯定的回答 85%</p>	<p>① 学校行事に高齢者を招待し、触れ合うことで、高齢者を身近に思える機会を作る。</p> <p>② 各教科の授業で高齢者を扱う題材を通して、高齢者に対する理解を深め、いたわりの気持ちを醸成する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 79.5% ・保護者の肯定的回答 85.2% ・地域住民の肯定的回答 96.0% ・生徒の肯定的回答 85.6% <p>生徒の評価、地域住民の評価ともに、目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>各教科の授業や道徳の授業などを通し、高齢者に対する感謝やいたわりの心を育てていく。</p>
<p>A 12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%</p>	<p>① 各教科の学習の中で、環境に関する題材を通して、自己を取り巻く環境について考える時間を設ける。</p> <p>② 地域の清掃活動やリサイクルの推進、節電・節水などを通して、環境を大切にすることを養う。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 46.2% ・生徒の肯定的回答 70.5% <p>目標値には届かなかったが、市平均は1.9ポイント上回っている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>各教科の授業（特に社会）や総合的な学習において、生徒の「持続可能な社会」に対する理解が深まるような授業を実践する。</p>

	<p>B 1 教職員は、生徒が自主的な学習を進めることができるように、学習の進め方を指導している。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 85% 保護者の肯定的回答 80%</p>	<p>① 自主学習の仕方や定期テストに向けた具体的な対策を各教科の授業や学年集会等で説明し、学習の手引きを活用して効果的な学習の仕方を指導する。</p> <p>② 生徒会や学年委員会活動を通して自主学習ノートの効果的な活用を促し、共に学ぼうとする環境を整える。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 97.4% ・保護者の肯定的回答 75.1% <p>① 学習の手引きの充実 ② 個別指導の充実</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 『学習の手引き』を活用して、自主学習の仕方を指導することにより、学習習慣の確立を図り、家庭学習の意欲を高める。</p>
<p>A 13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%</p>		<p>① 教育相談部会、特別支援部会、校内特別支援委員会において情報交換をしっかりと行くと共に、報・連・相を確実にしながら素早く対応する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 84.6% <p>①数値目標は、4%程度上回った。しかし、市の平均より10%下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・数値目標を10ポイント高く設定し、今年度の取組を継続していく。情報の共有について工夫する。</p> <p>B</p>
<p>A 14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90% 教職員の肯定的回答 95% 保護者の肯定的回答 90%</p>		<p>① 道徳などの心の教育を重視し、いじめの未然防止の取り組みの充実を図るとともに、取り組みを地域社会に積極的に発信する。</p> <p>② 教育相談やQUなどを十分に活用し、いじめの早期発見・早期対応を行うとともに、いじめを許さない学級・学年集団をつくる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 94.9% ・保護者の肯定的回答 70.7% ・地域住民の肯定的回答 96.0% ・生徒の肯定的回答% 93.0 <p>生徒の評価は目標値を上回ったが、教職員評価は0.1ポイント、保護者の評価は19.3ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の取組を継続していくとともに、学校の取組を保護者に発信することや、保護者との信頼関係を築いていくことを意識した対応を心掛ける。</p> <p>B</p>
<p>A 15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答 80%</p>		<p>① 教育相談や家庭訪問、三者懇談等を有効に活用しながら、家庭との連携を密にとり、問題があれば早期対応、早期解決をめざす。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 82.1% ・保護者の肯定的回答 80.1% ・生徒の肯定的回答 90.0% <p>①教職員保護者生徒とも、本校の目標は達成しているが、市の平均を3ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・教育相談三者懇談等で得た情報を円滑に学年等で共有し、チームとして生徒に支援をしていく。また、数値目標を10%上げる。 ・レインボー教室の運用の仕方を工夫する。</p> <p>A</p>
<p>A 16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%</p>		<p>① 日本語の習得が不十分な外国人生徒の日本語の指導を計画的に行い、今年度の目標を設定させ、個人内評価を工夫する。</p> <p>② 日本語の指導講師やボランティアの方、また学級担任や学年主任と密に連絡を取り、継続的に学習に取り組めるよう支援していく。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 84.6% <p>① 計画的な日本語指導、目標の設定 ② 継続的な支援</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 日本語の習得が不十分な外国人生徒の日本語指導を計画的に行い、継続的に学習に取り組めるよう支援していく。</p>

目指す学校の姿

<p>A 17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85% 保護者の肯定的回答 85%</p>	<p>① 行事等での生徒の活躍の場を積極的に取り入れ、自信を持たせる。</p> <p>② 生徒の実態に即した指導計画を立て実践し、充実した学校生活がおくれるように支援していく。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 89.7% ・保護者の肯定的回答 91.4% ・地域住民の肯定的回答 100.0% ・生徒の肯定的回答 83.1% <p>教職員の評価は数値目標を達成したが、生徒の評価は1.9ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】 学校行事だけでなく、クラス内での係活動などでも生徒の活躍の場を設け、生徒がいきいきと学校生活を送れるよう支援する。</p>
<p>A 18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%</p>	<p>① 学習課題を明確に提示し、習得・活用・探究させる授業を展開し、生徒に振り返りをさせる。</p> <p>② 知識・技能を活用して考えさせたり、自分の考えを表現させたりして、思考力・判断力・表現力を育成する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 97.4% ・保護者の肯定的回答 73.1% ・生徒の肯定的回答 85.8% <p>① 基礎・基本の定着を図る指導の充実 ② 言語活動の充実</p> <p>【次年度の方針】 教員を4グループに分けて、9月～12月に授業公開し、授業改善に向けた3つの視点に照らして、授業力向上を図る。</p>
<p>A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%</p>	<p>① 教育目標及び学校経営の方針を全職員が意識し、全教育活動でそれが生かせるように活動しながら業務を進めるようにする。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 71.8% <p>①市の平均より16ポイント低いが、昨年度と比較すると6ポイント上昇した。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続して取り組んでいく。また、目標値を、10%低く設定する。</p>
<p>A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 80%</p>	<p>① SC、SSW、かがやきルーム指導員等を有効に活用した不登校対策等の推進や役割分担を図る中で、教員の業務縮減を行う。</p> <p>② 部活動地域指導者を有効活用した部活動の充実を図る中で、教員の業務縮減を行う。</p> <p>③ パソコンで情報共有を図ることで教員の業務縮減を行う。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 64.1% <p>・市の平均を3ポイント下回っているが、昨年度と比較すると12ポイント上昇した。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続していく。 ・勤務時間を意識した日課行事の持ち方について工夫していく。</p>
<p>A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 80%</p>	<p>① 地域学校園あいさつ運動の充実や行事等における小中の連携、中学生によるボランティア活動の充実を図る。</p> <p>② 各学校の課題を明らかにして、地域学校園各部会の取組を充実させる。(心の教育部会・特別支援教育部会・学力向上部会・健康安全部会・連携部会)</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 89.7% ・保護者の肯定的回答 91.4% ・地域住民の肯定的回答 100.0% ・生徒の肯定的回答 72.2% <p>・数値目標は達成しているが、生徒の肯定的解答は市の平均を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・数値目標対象を教職員から生徒に変更し、ボランティア活動等に継続して取り組む。</p>

<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 80%</p>	<p>① 地域コーディネーターと連携し、地域協議会と協力し学校支援の取り組みを推進する。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 100.0% ・保護者の肯定的回答 86.4% ・地域住民の肯定的回答 100.0% ・生徒の肯定的回答 81.7% <p>①肯定的解答は市の平均を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標を保護者に変更し、90%の肯定的回答を得られるよう今年度の取組を継続していく。
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答 80%</p>	<p>① 家庭訪問、保護者会、三者懇談等を活用し、保護者との連携を図る。</p> <p>② ボランティア活動を通してより良い生徒の育成を行う。また、PTA との連携を深め、学校運営の充実を図る。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 100.0% ・保護者の肯定的回答 86.4% ・地域住民の肯定的回答 100.0% ・生徒の肯定的回答 81.7% ・教職員の肯定的回答は上昇したが、保護者生徒の肯定的回答は4ポイント程度減少している。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア活動を更に充実し、生徒がより主体的に取り組めるような環境づくりに努める。
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答 85% 地域住民の肯定的回答 85%</p>	<p>① 毎月1回、児童生徒等が使用する校地、運動場、教室、特別教室、廊下、昇降口、ベランダ、階段、便所、手洗い場、給食室、屋上などについて、計画的に、組織的に安全点検を実施する。</p> <p>② 学校行事の前後や、災害発生時等、必要があるときは臨時に安全点検を実施する。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 100.0% ・保護者の肯定的回答 91.3% ・地域住民の肯定的回答 100.0% <p>①毎月の校内安全点検の実施 ②見回りの実施</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>安全点検の提出を徹底し、行事の前後などはそれに合わせた実施にするなど安全な環境作りに努める。時間を要するものも継続して修理していく。</p>
<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%</p>	<p>① 授業中の視覚効果を高めるため、PCや実物影機等を活用できるようにする。</p> <p>② 司書が授業に参加し、参考図書のアドバイスをしたり、前年度の調べ学習等で不足している本の補充をしたりするなど、必要な本が探しやすい工夫する。</p>	<p>A</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 87.2% ・保護者の肯定的回答 65.7% ・生徒の肯定的回答 68.4% <p>①機器を使い授業に活用できた。 ②司書が本の補充を行い、調べ学習に必要な図書の用意や活用ができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>授業等において、機器や図書を有効活用できるように環境整備を行っていく。</p>

	<p>B2 教職員は、生徒同士が互いに認め合える環境作りをしている。</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答 85% 生徒の肯定的回答 90%</p>	<p>① 行事等の振り返りワークシートの中に他の生徒の取組を認める項目を設けたり、ワークシートを掲示したりして、生徒同士が賞賛し合える環境を整える。</p> <p>② 道徳の授業をはじめとする学習活動の中にグループ活動を取り入れるなど互いの意見を交わす場を設定し、他者の考えに触れさせ、その考えを共有し、尊重し合える場を設定する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 89.5% ・保護者の肯定的回答 74.8% ・生徒の肯定的回答 86.7% <p>生徒の評価は 3.3 ポイント、保護者の評価は 10.2 ポイントと目標値を大きく下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>行事の振り返りワークシートの工夫などは継続して行うとともに、各種便り等で学校の取組を保護者に積極的に発信していく。</p>
	<p>B3 学校や地域は、生徒が自主的に地域の行事に参加し、活動することを支援している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85% 地域住民の肯定的回答 80%</p>	<p>① 年間を通して地域の行事に自主的に参加する機会を設定し、地域と共に支援することで、地域貢献の意識を高める。</p> <p>② 地域行事への参加の様子を収めた写真などを校内に掲示したり、学校HPに掲載したりすることで、生徒の達成感を高める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 100.0% ・保護者の肯定的回答 93.5% ・地域住民の肯定的回答 100.0% ・生徒の肯定的回答 93.2% <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア活動に広がりが見られ、生徒が活躍する場面が増加した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・②について、行事参加の様子の記録収集を工夫する。 ・達成目標を生徒の肯定的回答を 95%に設定し、今年度の取組を継続していく。
本校の特色・課題等	<p>B4 学校や地域は、定期的に登校指導や下校指導を行い、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図り、「地域に愛される旭っこ」の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 地域住民の肯定的回答 85% 保護者の肯定的回答 85%</p>	<p>① 保護者・教職員・生徒・地域が一体となっていく PTSC あいさつ運動を計画的に行い、地域の一体感を味わわせ、地域の一員としての自覚をもたせる。</p> <p>② 地区懇談会（魅力教主催）の場を活用して、地域で子供を見守る体制や方策について共通理解を図り、実行する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 97.4% ・保護者の肯定的回答 85.2% ・地域住民の肯定的回答 100.0% <p>①あいさつの意味を考えさせる ②活発な話し合いをさせる</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>あいさつ運動を継続しつつ、いつどのようにあいさつをするのかを具体的に生徒に指導する。また、あいさつ運動時に学校に教員が少なすぎて緊急時の対応ができないため、半数以上は学校に残るように計画を見直す。</p>
	<p>B5 学校や家庭は、生徒が主体的によりよい生活習慣を確立し、心身ともにたくましく、規則正しい生活習慣を身につけられるよう支援している。</p> <p>【数値目標】 保護者の肯定的回答 85% 生徒の肯定的回答 85%</p>	<p>① 達成感や充実感をもたせることをねらいとし、簡単には乗り越えられない課題や活動に、個人だけではなく集団で取り組む経験を意図的に行事の中に組み込んでいく。</p> <p>② スタンダードガイアの「元気っ子生活習慣チェック」を定期的の実施し、実態の把握と指導、生徒への意識付けを行い、規則正しい生活の習慣化を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答 100.0% ・保護者の肯定的回答 90.3% ・生徒の肯定的回答 93.0% <p>①最後まで取り組める生徒を増やす ②マイライフチェックを年2回実施し、結果を生徒にフィードバックする。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>学校生活全般を通して、課題への取り組み方や健康な生活に対して、何事にも積極的に取り組めるよう、自己肯定感の高い生徒の育成に努める。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

1 今年度（令和元年度）と前年（平成30年度）の比較から

- ・A3「児童生徒は、きまりやマナーを守って生活している」において、前年度比 教職員+17.3, 保護者+2.3, 地域住民+0.5, 生徒+9.3であり、十分満足な結果であった。特に生徒の前年度比の上昇が顕著である。
- ・A4「児童生徒は、時と場合に応じた挨拶をしている」において前年度比 教職員-3.2, 保護者+3.1, 地域住民+4.8, 生徒+2.1であった。PTSC あいさつ運動の成果と考えられる。
- ・A14「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」において前年度比 教職員-0.6, 保護者-7.6, 地域住民-4.0, 生徒-0.4であった。全体が市の平均を下回っており、改善が必要である。例年通りの取組にとどまらず、取組を工夫すると共に、生徒指導だよりや学校ホームページを活用した広報活動に、より注力して行う。
- ・A17「学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である」において前年度比 教職員+1.1, 保護者-2.5, 地域住民±0（肯定的解答100%）、生徒-5.0であった。外部から好評価を得ているにもかかわらず、生徒の肯定的回答が低いことから、達成感や充実感を十分に味わえていないことが考えられる。今後は、より生徒主体の学校行事への転換を図ると共に認め・励ます教職員の言葉かけを積極的に行い、自己肯定感を高められるよう取組を工夫する。

2 本校と市の平均の比較から

- ・教職員の肯定的回答においてA13「特別な支援を必要とする生徒への対応」、A15「不登校を生まない学級経営」、A16「外国人生徒への適切な支援」、においてそれぞれ市の平均比マイナスとなっている。本校は、地域の特別支援教育の拠点校、市の不登校支援の中核となる相談学級としての役割をもつことから、より高いレベルの支援を行いたいという高い意識をもった教職員が多いことから、現状に満足することなく、より高次元の対応ができるようになりたいという意欲の裏返しと言える。今後より一層、家庭地域の協力を得ながら、丁寧な指導に努めたい
- ・A22「地域の教育力の活用」教職員+6.3, 保護者-0.7, 地域住民+4.2, 生徒+0.2, A23「家庭・地域・企業の連携・協力」教職員+6.3, 保護者-0.7, 地域住民+4.2, 生徒+0.2, と市の平均を上回り、地域連携が十分に行われ、成果を上げている。

3 本校独自のアンケート項目から

- ・B3「学校や地域は、生徒が自主的に地域の行事に参加し、活動することを支援している」において、教職員100%、保護者93.5%、地域住民100%、生徒93.2%であった。地域で中学生を頼りし、育てていただく機会が、年間実施回数20回を越えている。本校で作成した実施後のアンケート（5.0を満点）の評価で4.6となるなど、生徒に満足度、達成度を味わわせることができた。
- ・B2「教職員は、生徒同士が互いに認め合える環境作りをしている」において、教職員89.5%、保護者74.8%、生徒86.7%であった。これは、前出のA14、A17の改善にもつながる項目であるので、今後さらに取組の見直しと共に、日々の教育活動をより丁寧に行うことや教職員が生徒と関わる際の生徒への態度を見直すことを通して、範を示すことができるよう、職員一丸となり教育の質の向上を図る。

7 学校関係者評価

- ・登下校の交通マナーについて改善の余地がある。
特に、下校時に道いっぱいに広がって歩くことなど、周囲への気遣いを含めて改善を図りたい。
現在、築瀬地区では青パトの申請が通り、朝夕の巡回指導を行えるようになった。今後も継続して地域が子どもを見守る取組を充実していく予定である。
- ・あいさつについても、来校者に対する校内でのあいさつはすばらしいが、校外で、交通指導員等に対するあいさつが十分ではない。家庭・地域がさらに連携し、大人同士があいさつできる関係を気づき、生徒も自然とあいさつできる環境を作ることが今後必要である。
- ・地域協議会の組織を見直し、さらに有効な話し合いができるよう改善を図る。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度の取組やその振り返りを生かして、学校と家庭・地域との連携・協力を深め、積極的な情報発信と相互交流を大切に、学校マネジメントシステムを十分に活用し、地域とともにある学校づくりを充実発展する。
- ・道徳教育の推進や本校の取組の特色でもあるボランティア活動の推進に係る取組について、学校と家庭・地域との適切な連携・協力のもと、豊かな心や感性を培う体験的な活動を展開する。特に、高齢者との関わりについて行事運営を工夫し、展開できるようにする。
- ・生徒が将来の夢や目標に向かう粘り強く取り組めるよう、キャリア教育の視点をより明確にし、学ぶ意義を実感し、主体的に学びに向かう生徒を育み、家庭における学習習慣の確立と適切な学習支援に努め、学習内容の定着を確実にする。

